

I P P O

～校内研修支援プログラム～

■ 校内研修支援プログラム「IPPPO (いっぽ)」とは

全国学力・学習状況調査をはじめとした各種調査の目的の一つは、各学校が、自校の調査結果を活用し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。また、各学校においては、カリキュラム・マネジメントの充実に向け、各種調査結果やデータ等に基づき、児童の姿や学校及び地域の現状を的確に把握した上で、取組を進めることが必要です。

「IPPPO (いっぽ)」は、学力調査等の結果を活用して指導改善に取り組む学校の校内研修を支援するために、広島県教育委員会が作成したプログラムです。「IPPPO (いっぽ)」は、全国学力・学習状況調査と児童生徒学習意識等調査の調査結果を読み込むことにより、議論のテーマごとに関連する自校のデータが表示された校内研修用のシートを作成します。

ちなみに、「IPPPO」という名称の表記は、下に示すように、四つの願いを想起させる四つの英単語の頭文字に由来しています。また、「いっぽ」という読み方は「一歩」をイメージしたものであり、学校全体で踏み出す指導改善の「第一歩」に役立ててほしいという思いからです。

各学校において、たとえば、この「IPPPO (いっぽ)」等を活用し、自校の児童生徒の実態や指導の状況を踏まえ、活発な議論を行い、組織的・計画的な指導改善を進めていただきたいと考えております。

校内研修支援プログラム「IPPPO (いっぽ)」に込めた願い

- I**ndividual 児童生徒一人一人の顔を思い浮かべ、個別の状況を把握し、丁寧な分析を！
- P**urposeful 「主体的な学び」の実現に向けた授業改善の手立てを明確にするために！
- P**ositive 児童生徒の「分かった！」「できた！」という笑顔の実現に向けて前向きに！
- O**rganized 調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で組織的・計画的な取組を！

文部科学省 令和3年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領

1. 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

文部科学省 小学校(中学校)学習指導要領(平成29年3月告示)

第1章 総則 第1 小学校(中学校)教育の基本と教育課程の役割

4 各学校においては、児童(生徒)や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(以下「カリキュラム・マネジメント」という。)に努めるものとする。

文部科学省 小学校(中学校)学習指導要領解説 総則編

第3章 第1節 4 カリキュラム・マネジメントの充実

ア 児童や学校、地域の実態を適切に把握すること

教育課程は、第1章総則第1の1が示すとおり「児童(生徒)の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して」編成されることが必要である。各学校においては、各種調査結果やデータ等に基づき、児童の姿や学校及び地域の現状を定期的に把握したり、保護者や地域住民の意向等を的確に把握した上で、学校の教育目標など教育課程の編成の基本となる事項を定めていくことが求められる。

学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）への支援に向けて（国語）

本校の国語 における学力に大きな課題がある児童

本校の国語 における学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）の数

9人

該当する児童を確認しながら手立てを検討しましょう。

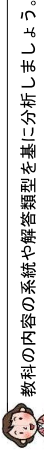
国語 における正答率と無解答率

問題番号	概要	正答率 (%)		無解答率 (%)	
		任 意 県 (公立)	自 校	任 意 県 (公立)	自 校
1一	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スビーチメモ】と【スビーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する。	79.3	85.6	33.3	0.2
1二	津田梅子についての【スビーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選択する。	76.6	83.9	33.3	0.4
1三	津田梅子についての【スビーチ】の練習の「[]」の部分で話す内容として適切なものを選択する。	81.6	86.8	11.1	0.2
2一	面アスナーに関する【資料】の文章が、何についてどのように書かれているかの説明として適切なものを選択する。	78.7	84.5	44.4	0.3
2二	面アスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方で話す内容として適切なものを選択する。	87.6	89.1	11.1	0.2
2三	面アスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面アスナーを作り出したのかをまとめて書く。	35.9	47.7	11.1	3.2
2四	面アスナーに関する【資料】を読み、面アスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	30.6	44.8	0.0	4.1
3一	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する。	66.1	73.0	0.0	1.5
3二	丸山さんの【文章の下書き】の「-----」部の【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す。	61.9	78.2	22.2	7.4
3三(1)ア	丸山さんの【文章の下書き】の中の「-----」部アを、漢字を使って書き直す（ころがつている）。	78.3	90.2	44.4	7.3
3三(1)ウ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「-----」部ウを、漢字を使って書き直す（つみ重ね）。	54.4	71.3	22.2	12.1
3三(1)エ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「-----」部エを、漢字を使って書き直す（けんいん）。	83.1	90.2	55.6	4.9
3三(2)イ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「-----」部イで「~~~~」部「残されています」の主語として適切なものを選択する。	69.6	84.5	22.2	2.8
3三(2)オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「-----」部オで「~~~~」部「すくじ」がくわしくしている言葉として、適切なものを選択する。	44.5	50.6	44.4	3.0

まずは、この問題を全員で解いてみて、どのような力が求められているか確認しましょう。

STEP1 学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）の、正答率が低い問題や、無解答率の高い問題を取り上げ、解いてみましょう。

STEP2



教科の内容の系統や解答類型を基に分析しましょう。
本校の学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）は、どのような学習のどの段階でつまづいているのでしょうか。

ポイント

該当する児童一人一人について、教科学力調査や質問紙調査の結果に加え、日頃の学校生活の様子、家庭との連携で把握したことなどを総合的に分析し、学習のつまづきの要因や背景を捉えることが大切です。

議論しよう！



STEP3

学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）に対して、つまづきの解消に向け、どのような手立て（指導の工夫・支援）を講じますか。

自校の国語における正答率下位3問の状況

自校の国語 における正答率下位3問

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)		学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	
			自校	全国(公立)	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	読者の立場から読みとらなうこと	ことばの活用に関する技能	ことばの機能に関する技能	ことばの表現に関する技能			ことばの文化に関する技能
1 2 4	面アスターに関する【資料】を読み、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	目的を明確にして「中心と要約」が、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	44.8	30.6	29.7	0.0	4.1	5.5				読者の立場から読みとらなうこと	選択式
2 3	面アスターに関する【資料】を読み、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	目的を明確にして「中心と要約」が、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	47.7	35.9	34.4	0.0	3.2	4.1				読者の立場から読みとらなうこと	選択式
3 (2)	オムツの役割を説明し、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	目的を明確にして「中心と要約」が、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	50.6	44.5	43.6	0.0	3.0	4.1	3.4	4.1		読者の立場から読みとらなうこと	選択式

正答率下位3問の解答類型

解答類型を基に児童の誤答を分析しましょう。

問題番号	問題の概要	1項目 自校の正答率(%)		2項目 広島県(公立)の児童数の割合(%)		3項目 全国(公立)の児童数の割合(%)							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
2 4	面アスターに関する【資料】を読み、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	44.8	30.6	0.0	6.0	29.0	10.2	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	5.5
2 3	面アスターに関する【資料】を読み、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	47.7	35.9	0.1	8.2	44.9	19.3	19.3	19.3	19.3	19.3	19.3	5.6
3 (2)	オムツの役割を説明し、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	50.6	44.5	0.0	3.0	4.1	3.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	5.6

1. ① 資料①、②、③の順に、④を調べる。⑤を調べる。⑥を調べる。⑦を調べる。⑧を調べる。⑨を調べる。⑩を調べる。⑪を調べる。⑫を調べる。⑬を調べる。⑭を調べる。⑮を調べる。⑯を調べる。⑰を調べる。⑱を調べる。⑲を調べる。⑳を調べる。㉑を調べる。㉒を調べる。㉓を調べる。㉔を調べる。㉕を調べる。㉖を調べる。㉗を調べる。㉘を調べる。㉙を調べる。㉚を調べる。㉛を調べる。㉜を調べる。㉝を調べる。㉞を調べる。㉟を調べる。㊱を調べる。㊲を調べる。㊳を調べる。㊴を調べる。㊵を調べる。㊶を調べる。㊷を調べる。㊸を調べる。㊹を調べる。㊺を調べる。㊻を調べる。㊼を調べる。㊽を調べる。㊾を調べる。㊿を調べる。

問題番号	問題の概要	解答類型										割合(%)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
2 3	面アスターに関する【資料】を読み、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	47.7	35.9	0.0	0.1	29.0	18.7	12.7	8.1	8.1	8.1	8.1	3.2
3 (2)	オムツの役割を説明し、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	50.6	44.5	0.0	0.1	38.0	11.9	8.0	1.7	1.7	1.7	1.7	4.1

- (正答の概要)
次の条件を満たして解答している。
① 資料①、②、③の順に、④を調べる。⑤を調べる。⑥を調べる。⑦を調べる。⑧を調べる。⑨を調べる。⑩を調べる。⑪を調べる。⑫を調べる。⑬を調べる。⑭を調べる。⑮を調べる。⑯を調べる。⑰を調べる。⑱を調べる。⑲を調べる。⑳を調べる。㉑を調べる。㉒を調べる。㉓を調べる。㉔を調べる。㉕を調べる。㉖を調べる。㉗を調べる。㉘を調べる。㉙を調べる。㉚を調べる。㉛を調べる。㉜を調べる。㉝を調べる。㉞を調べる。㉟を調べる。㊱を調べる。㊲を調べる。㊳を調べる。㊴を調べる。㊵を調べる。㊶を調べる。㊷を調べる。㊸を調べる。㊹を調べる。㊺を調べる。㊻を調べる。㊼を調べる。㊽を調べる。㊾を調べる。㊿を調べる。

問題番号	問題の概要	解答類型										割合(%)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
9 3 (2) オムツ	オムツの役割を説明し、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	29.0	22.4	30.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	0.0
9 3 (2) オムツ	オムツの役割を説明し、面アスターが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	30.1	18.7	43.9	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	4.1

STEP1 正答率下位3問の問題を解き、これらの問題を解くためにはどのような力が必要となるのか確認しましょう。

STEP2 なぜ、この問題の正答率が低いのでしょうか。(児童はどのような点でつまづいているのでしょうか。)

ポイント どの学年のどの段階でつまづきが生じたのか、そもそも問題の意味が理解できているのか、考え方が身に付いているのか、記述で説明する際に課題があるのではないかと、調査対象教科以外の教科での状況はどうかなど、全員で問題意識を共有しましょう。

STEP3 この問題について、どのような指導の工夫を行いますか。自分の学年では、どのような指導の工夫ができるでしょうか。

参考 過去の報告書の改善事例も参考にしましょう。
国立教育政策研究所ホームページ
<http://www.nier.go.jp/ka hatsu/zenkokugakuryoku.html>

ポイント 調査対象となる学年や教科だけでなく、学校全体の取組とすることが重要です。

S-P表を活用した授業改善に向けて（国語）

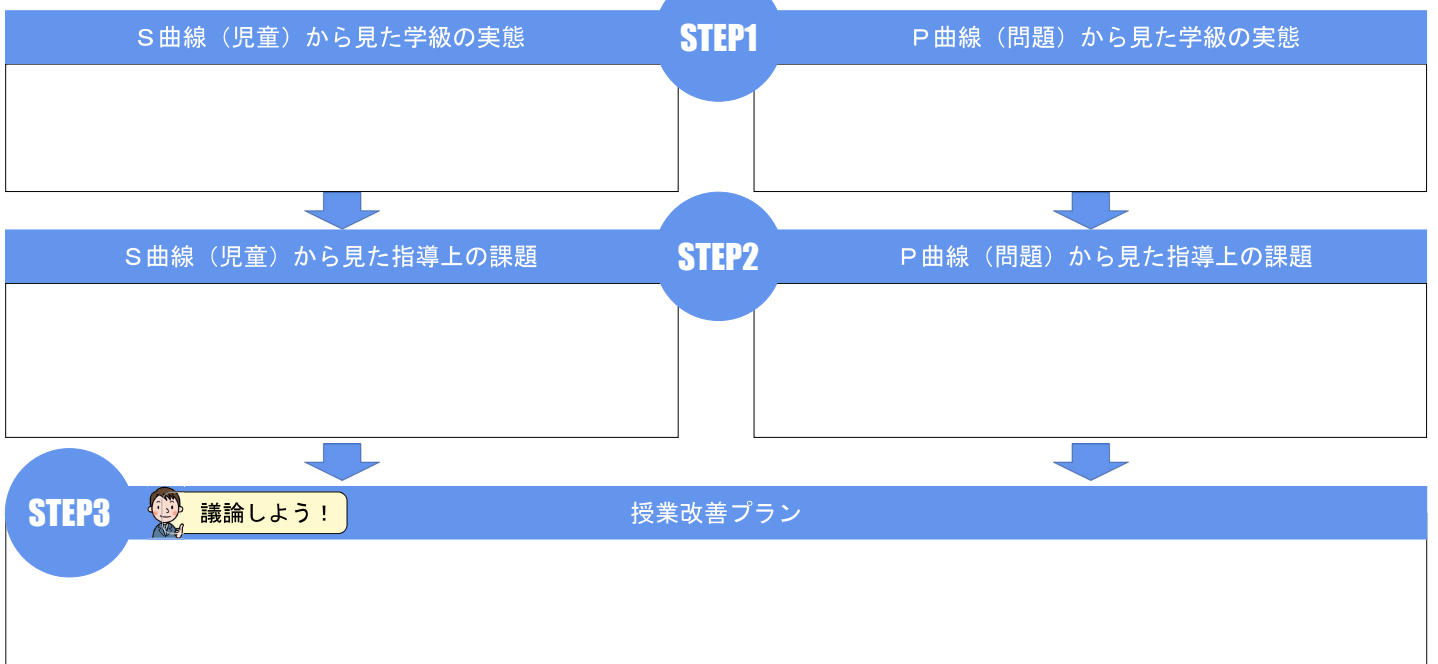
6年1組 国語 S-P表

ポイント

平均正答率だけでは把握できない学校や学級全体の課題の傾向や、個々の児童が理解していない可能性が高い設問を見つけ、授業改善プランにつなげましょう。

問題番号	2二	1三	3三(1)イ	3三(1)フ	2一	1一	1二	3三(2)イ	3一	3二	3三(1)ウ	3三(2)オ	2三	2四						
領域等	(1)	A	(1)	(1)	C	A	A	(1)	B	B	(1)	(1)	C	C						
問題の概要	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。	問題文の「ア」に「し」を挿入して「ア」の語句の意味を説明する。						
全国（公立）の正答率	87.5	81.0	79.0	78.3	77.6	77.5	74.9	67.0	64.8	56.6	54.4	43.6	34.4	29.7						
正答人数の割合	91.4	88.6	97.1	91.4	88.6	94.3	85.7	85.7	80.0	85.7	77.1	45.7	48.6	40.0						
正答人数	32	31	34	32	31	33	30	30	28	30	27	16	17	14	合計					
学年	組	個人番号	氏名	解答類型("0"は無解答を表す)												正答数	正答率			
6	1	3358402	横川健次	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	3	1	1	14	100.0	
6	1	3358405	岩崎康大	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	3	1	1	14	100.0	
6	1	3358406	熊倉和瑠	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	3	1	1	14	100.0	
6	1	3358429	内戸也	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	3	1	1	14	100.0	
6	1	3358408	森島伽羅	4	2	1	1	1	1	4	4	2	1	1	3	1	1	13	92.9	
6	1	3358411	北野青	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	3	1	5	13	92.9	
6	1	3358412	荒井優吏	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	2	1	1	13	92.9	
6	1	3358415	黒木紗々	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	3	1	5	13	92.9	
6	1	3358427	深井ひかり	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	3	1	5	13	92.9	
6	1	3358430	小関美千子	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	3	1	5	13	92.9	
6	1	3358407	野田美緒	4	2	1	1	1	1	4	3	2	3	1	1	1	1	12	85.7	
6	1	3358418	下田こはく	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	2	5	1	12	85.7	
6	1	3358420	秋山夏斗	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	3	4	4	12	85.7	
6	1	3358422	島袋阿澄	4	2	1	1	1	1	4	3	1	1	1	1	1	1	12	85.7	
6	1	3358426	池田夏夜音	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	1	4	1	12	85.7	
6	1	3358428	山岸憲一	4	2	1	1	1	1	4	3	2	0	1	3	1	5	12	85.7	
6	1	3358433	小暮宏輝	4	2	1	1	1	1	3	3	2	1	1	1	1	1	12	85.7	
6	1	3358435	神山春香	4	2	1	1	1	1	4	3	2	4	1	1	1	1	12	85.7	
6	1	3358403	赤松隼珂	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	1	4	5	11	78.6	
6	1	3358404	立石風音	4	2	1	1	2	1	4	3	2	1	1	2	4	1	11	78.6	
6	1	3358410	前田深月	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	1	4	5	11	78.6	
6	1	3358421	麻生美希	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	1	4	5	11	78.6	
6	1	3358425	平田明日翔	4	2	1	1	1	1	3	3	2	1	1	1	4	1	11	78.6	
6	1	3358432	本村二千花	4	2	1	1	1	1	4	3	1	4	1	3	1	5	11	78.6	
6	1	3358401	小森駿仁	4	2	1	1	2	1	4	3	2	1	1	99	3	6	5	10	71.4
6	1	3358413	丹羽夏菜子	4	2	1	1	1	1	4	1	1	2	1	1	3	1	5	10	71.4
6	1	3358419	北川五月	4	2	1	1	1	1	4	3	2	1	1	99	2	5	6	10	71.4
6	1	3358424	溝口光芽	4	2	1	1	1	1	4	3	4	1	1	99	1	4	5	9	64.3
6	1	3358431	西尾友愛	4	2	1	1	1	1	4	4	2	1	1	99	1	6	5	9	64.3
6	1	3358414	日下部歩花	3	2	1	99	1	1	4	3	1	1	1	2	5	5	8	57.1	
6	1	3358416	柳原利伸	4	2	1	1	3	1	4	3	3	1	1	99	4	6	6	8	57.1
6	1	3358423	相馬舞人	4	3	1	1	4	1	4	3	2	1	1	99	1	5	5	8	57.1
6	1	3358417	阿部真由美	4	1	1	1	1	4	3	1	2	1	1	99	3	4	5	7	50.0
6	1	3358409	小澤幸治	1	4	99	99	1	1	3	3	1	1	1	99	3	5	5	5	35.7
6	1	3358434	矢田青波	2	4	1	99	1	1	4	4	3	5	1	1	4	5	5	35.7	

P曲線（赤色実線）が全国正答率の線（赤色点線）よりも高い位置にある問題：学校全体で正答率が低い問題＝学校全体として「重点的に指導すべきと考えられる問題」
 S曲線（青線）より左側にある旗答：当該児童にとって正答が比較的容易だったと考えられる問題
 S曲線（青線）より右側にある旗答：当該児童が理解していない可能性が高い問題＝当該児童に対し「重点的に指導すべきと考えられる問題」



児童質問紙の回答状況の分析を活用した授業改善に向けて

6年1組

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果を活用した研修シート
児童質問紙を分析して個の実態を把握し、具体的な手立てに結びつける。

Table with columns: 番号, 氏名, 教科学力, 基本的な生活習慣等, 読解心・道徳感, 規範意識, 自己肯定感, 学習習慣, 地域, ICTを活用した学習状況, 主体的・対話的で深い学びの観点からの授業改善に関する取組状況, 総合的な学習の時間, 国語, 算数, 英語, 新型コロナウイルス感染症の影響

TOPIC (母校の状況はどう?)

Table with columns: 番号, 内容, 回答, 差, RQ3, RQ4, 目標

STEP1 気になる児童を書き出してみましょう。
STEP2 気になる児童の状況を書き出しましょう。
STEP3 どのような手立て(指導の工夫・支援)を講じますか。
議論しよう!

前回調査と比較して、広島県全体の肯定的回答の割合が下がった項目の一部です。
母校の回答状況や気になる児童の回答状況を確認してみましょう。
個人票や各教科の解答状況等も参考に分析を進めていきましょう。

自校の児童質問紙の回答の状況（県平均との差）

県平均との差 上位5事項

上位 番号	領域	内容	当てはまる			当てはまらない			差
			よく	やや	計	あまり	全く		
1	「課題発見・解決学習」情報収集の収集	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法が必要か情報を集めることができるかを考えたいです。	36.4	42.0	78.4	21.6	17.0	4.5	+17.4
2	「課題発見・解決学習」総合	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	52.8	31.3	84.1	15.9	12.5	3.4	+14.6
3	学習習慣・学習意欲	学校の授業の復習をするようにしています。	42.0	38.6	80.7	19.3	13.6	5.7	+14.1
4	「課題発見・解決学習」主体的創造・表現	授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。	38.1	36.9	75.0	25.0	21.0	4.0	+13.1
5	「課題発見・解決学習」整理・分析	授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめていきます。	36.4	46.0	82.4	17.6	15.3	2.3	+12.7
		広島県	28.9	40.8	69.7	30.2	23.9	6.3	

県平均との差 下位5事項

下位 番号	領域	内容	当てはまる			当てはまらない			差
			よく	やや	計	あまり	全く		
1	社会的事象への関心や体験等	地味や子供会などの行事に参加しています。	22.2	24.4	46.6	52.8	31.3	21.6	-7.2
2	「課題発見・解決学習」各教科等授業	授業では、自分に合った学習活動や学習課題を選ぶことができます。	26.7	38.6	65.3	34.1	27.8	6.3	-4.7
3	学習習慣・学習意欲	将来、仕事や生活の中で役に立つ動機・学習意欲と想うから勉強しています。	45.5	32.4	77.8	19.9	14.2	5.7	-4.6
4	生活習慣	ふだん月曜日～金曜日、同じくらい時刻に寝ています。	46.0	33.0	79.0	21.0	19.3	1.7	-4.0
5	生活習慣	外に出て遊んだり、運動をしたりして体を動かしています。	50.0	28.4	78.4	21.6	19.9	1.7	-3.9
		広島県	56.2	26.1	82.3	17.6	14.4	3.2	

STEP1 自校の「強み」(よさやこれまでの成果)はどこでしょうか。また、これまでのどのような取組が成果につながっているのでしょうか。

STEP2 自校の「弱み」(課題)はどこでしょうか。また、どのような要因が課題につながっているのでしょうか。

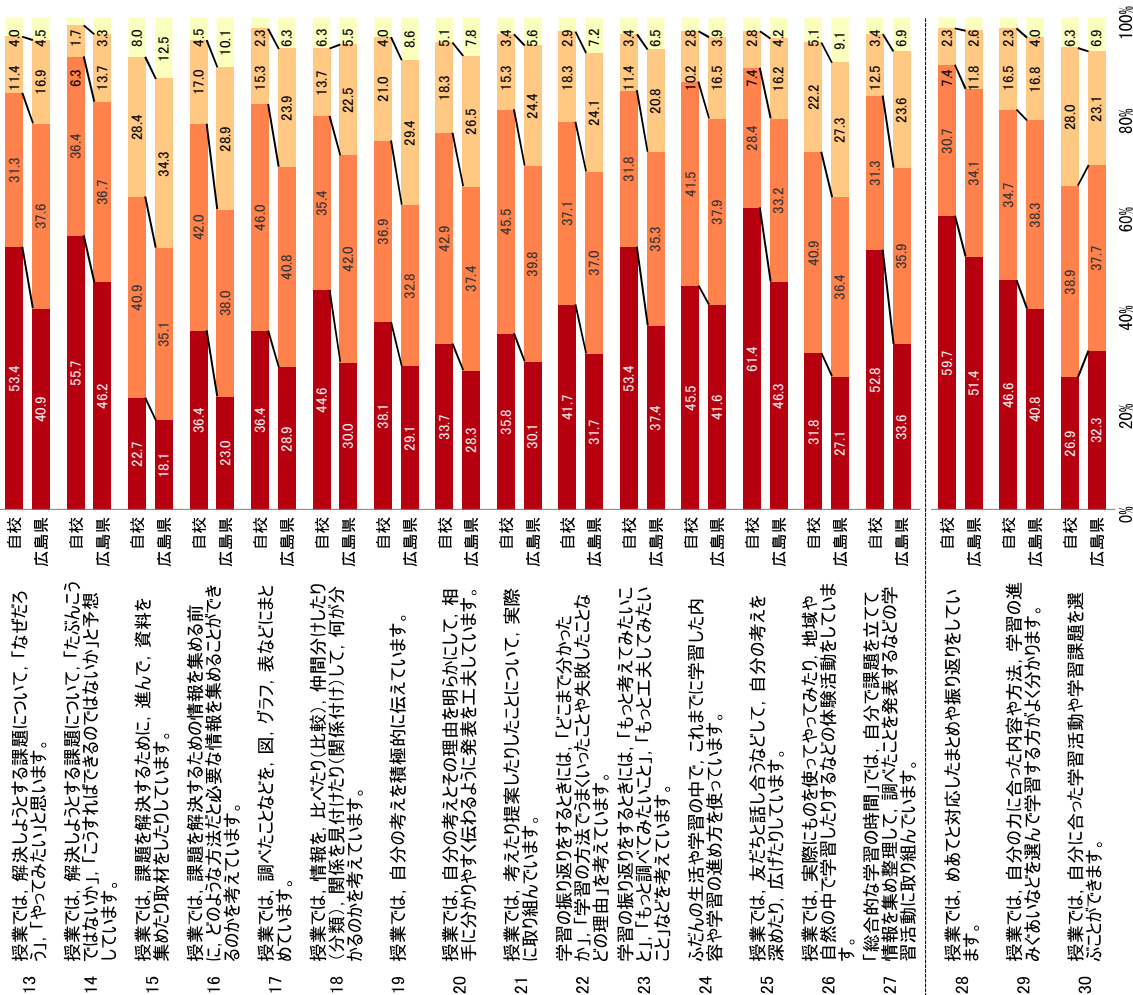
STEP3 自校の指導をどのように改善しますか。

ポイント 誰が、何を、いつまでに取組み、どのように確認するのか決めておくことが大切です。

「主体的な学び」の表現に向けた授業改善について

自校の「課題発見・解決学習」に関する児童質問紙調査の回答状況

児童質問紙



STEP1

自校の児童の回答状況からどのようなことが捉えられるでしょうか。

ポイント

「全く当てはまらない」と回答した児童の状況を把握し、背景・要因を分析してみましょう。



議論しよう！

STEP2

「課題発見・解決学習」等の学習過程の中で、自校において、より充実させる必要がある学習活動は何でしょうか。また、その学習活動をどのように工夫すれば、児童の学びは深まるでしょうか。

ポイント

児童質問紙調査と学校質問紙調査の回答状況の差に注目しましょう。



議論しよう！

STEP3

児童の「主体的な学び」を促すため、「課題発見・解決学習」の充実に向け、学校全体でどのようなことに取り組めますか。

ポイント

誰が、何を、いつまでに取組み、どのように確認するのか決めておくことが大切です。

Table with columns for student ID, name, and 50 items. Includes a '割合' (Ratio) column at the bottom. The table is color-coded to show response patterns.

TOPIC

前回調査に比べ肯定的回答の割合が下がった項目について (自校の状況はどうでしょうか?)

全国学力・学習状況調査の結果と同様に、児童生徒学習意識調査の児童生徒質問紙においても、前回調査に比べ肯定的回答の割合が下がった項目が見られました。

- 肯定的回答の割合が下がった項目の例> (1) 学校へ行くのは楽しいです。 (44) 将来の夢や目標をもっています。 (45) 将来の夢や目標は、かなうと思います。 (49) ふたん(月曜日～金曜日)、1日何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしていますか。 (50) 休日(土曜日・日曜日・祝日など)、1日何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしていますか。

前回調査と比較して、広島県全体の肯定的回答の割合が下がった項目の一部です。自校の回答状況や気になる児童の回答状況を確認してみてください。

STEP1

気になる児童を挙げ、実態を書き出してみよう。

STEP2

気になる児童の状況を書き出しましょう。

STEP3

どのような手立て(指導の工夫・支援)を講じますか。



議論しよう!

※各回答の割合は、(49)～(54)を除いて、算出していただきます。



個人票や各教科の解答状況等も参考に分析を進めていきましょう。